

こま eco 通信

vol.15



ご意見・ご要望は、
狛江市環境部環境政策課まで
☎03-3430-1111 (内線2566)
✉kankyokr01@city.komae.lg.jp



ごみ の 行 方

特集①

狛江市のごみ処理の流れ

特集②

やさしいのは環境だけじゃない。

“生物多様性ワーキンググループ”が新しくできました！
小学生環境フォトコンテスト最優秀賞
ほか

令和2年度 狛江市環境表彰制度受賞者が決定しました



市長賞 (最高賞)

環境を考える会
狛江市実行委員会

取組内容

狛江市の環境月間行事の推進・
各種環境測定の実施

河川(多摩川・野川)の水質調査、酸性雨の測定、大気汚染(NO₂)の測定の実施、また、町会・地域センター等での廃用油せっけんづくりの講師活動や小学校の環境学習での河川調査の指導を行うことで、市の環境保全に貢献しています。

評価のポイント

20年以上に渡って活動を継続されていることに加え、市の環境変化を監視する調査測定、地域住民や子どもたちの環境学習への協力など、幅広い活動内容が高く評価されました。

問合せ先 環境政策課環境係 ☎03-3430-1111 (内線2566)

イベントなどの最新情報は市ホームページ (<https://www.city.komae.tokyo.jp/>) のほか、
狛江市環境政策課 公式ツイッター (@komaekankyo) で発信しています。 ※通信料・パケット料は利用者の負担になります。

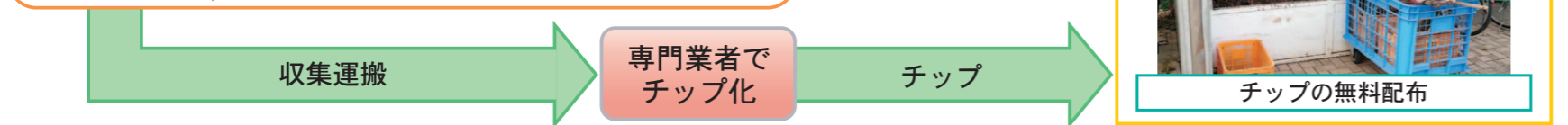
平成31年度 狛江市のごみ処理の流れ

家庭や事業所から出るごみ

燃やせるごみ (家庭)	燃やせるごみ (事業)	燃やせないごみ	粗大ごみ
11,720t	1,913t	856t	543t
発火物		有害ごみ	
23t		22t	

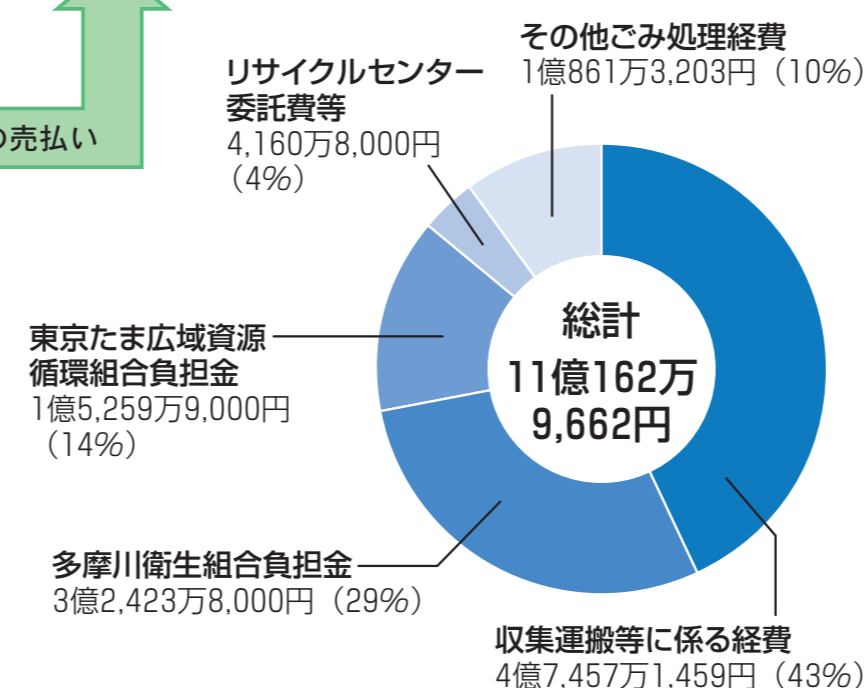
家庭や事業所から出る資源物

※ 集団回収	※ 拠点回収	生ごみ処理機処理量	ガラス・陶磁器
1,220t	140t	59t	59t
古紙	古布	金属	小型家電
2,642t	303t	35t	14t
植木せん定枝	ビン	缶	ペットボトル
100t	568t	202t	244t



■単位未満四捨五入のため数値が一致しない場合があります。
 ■人口：83,503人 (令和2年4月1日現在)
 問合せ先 清掃課 ☎03-3430-1111 (内線2603)

ごみの処理にかかった経費



合計

狛江市年間総排出量	20,663t
1日一人当たり	約678g
年間総ごみ処理経費	11億162万9,662円
年間一人当たり	約1万3,193円
年間資源物総売払い代金	2,438万4,467円
年間一人当たり	約292円

狛江市で収集した「可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ」は稲城市大丸にある「クリーンセンター多摩川」まで運び、破碎や選別と焼却の処理をしています。発生したごみ焼却灰(飛灰固化物)を日の出町の皆様のご理解のもと、二ツ塚処分場に搬入し、セメントの原料としてリサイクルしています。

「ビン・缶・ペットボトル」は、狛江市ビン・缶リサイクルセンターでリサイクルするために選別や減容などの処理を行っています。「古紙・古布・ガラス・陶磁器・発火物・有害ごみ・小型家電」と処理した「ビン・缶・ペットボトル」は、市外の専門業者で資源化しています。

このようにごみは市外の住民のご理解のもと処理されています。

4R※ (リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル) を実践し、ごみ減量とごみ処理経費削減にご協力をお願いします。

※「4R」とはごみ減量に有効とされる、頭文字がRで始まる次の4つの行動のことで。

Refuse (リフューズ) 発生回避 ごみになるものを買わない、断ること	Reduce (リデュース) 排出抑制 ごみの量を減らすこと
Reuse (リユース) 再利用 使ったものを廃棄せずにそのまま使うこと	Recycle (リサイクル) 再生利用 使ったものを資源として再利用すること

※集団回収：町会、自治会、PTA、マンション管理組合等の営利を目的としない10世帯以上で構成される団体が資源物を集積し、回収登録業者に引き渡すこと。
 ※拠点回収：公共施設等に設置している資源物の持込場所に持ち込まれた資源物を収集すること。

やさしいのは環境だけじゃない。

エコな活動には、環境以外の面で自分に大きくプラスになるものも。それらに目を向けて、さらに積極的な活動につなげましょう！

健康 Health



食品の買いすぎは、肥満と食品ロスのもと

食品を買いすぎたとき、あなたはその食品をどうしていますか？もったいないから無理して食べる？それとも、捨ててしまう？どちらを取っても、健康・環境によくありません。

肥満は、高血圧、糖尿病、脳血管疾患、心疾患等の生活習慣病の原因に。また、食品ロスは、資源の過剰消費、食の不均衡、温室効果ガスの増加等を招きます。必要なエネルギー量やBMI（肥満・低体重の度合いを示す体格指数）等を把握し、自分に必要な食事量を知り、適量を買って食べることが健康にも環境にもやさしい食生活となります。

一日に必要なエネルギー量の目安(kcal/日)	目標とするBMI(体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))
年齢 性別	年齢 目標とするBMI(kg/m ²)
18~64 男性 2,600~2,700	18~49 18.5~24.9
18~64 女性 1,950~2,050	50~64 20.0~24.9
65~74 2,400	65以上 21.5~24.9
75以上 2,100	

歩いて・走って温暖化と運動不足を同時に予防

テレワークや外出自粛の機会が増え、運動不足気味。だからなるべく徒歩や自転車移動したいけどなかなか…。

では、ここで移動手段によるエネルギー消費量の差を見てみましょう。自転車での移動は、車などに比べてなんと約3倍！実際には移動時間が長くなるため、同じ距離での消費量はさらに何倍にもなります。また、徒歩や自転車は資源を消費せず、温室効果ガスも出さないクリーンな移動手段です。

徒歩や自転車での移動は、地球温暖化とコロナ禍での運動不足を防ぐ重要なカギです。ぜひ積極的に取り入れましょう！

運動強度(METs)の目安

METs(メッツ)とは、運動強度の単位で、安静時を1とした時と比較して何倍のエネルギーを消費するかを示した値。エネルギー消費量(kcal)は、(METs-1)×時間(h)×体重(kg)で計算できます。

移動手段	徒歩	自転車	バス・電車	車の運転
METs(メッツ)	2.5~4.0	6.8~8.0	1.3	2.5

社会参加でより良い環境と生きがいづくりを

歳を重ねてもより長く健康を保つ「介護予防」に取り組む上で、最も大事とされる3つの要素があります。1つは運動、1つは栄養、もう1つは何か分かりますか？

答えは、「社会参加」です。近年の研究で高い介護予防効果が明らかになっており、調査によっては、なんと運動よりも効果的だという説も。人と関わりを持ちながら、生きがいをもって暮らすことが長く健康でいられる秘訣のようです。

狛江には、環境保全をテーマに活動するグループが多くあります。あなたもさまざまな人との関わりの中で活動し、生きがいを通じた健康と住みよい環境を手に入れませんか？活動団体等の詳細は、環境政策課までお問合せください！

やはり省エネはお財布にもやさしかった！

「省エネは環境にもお財布にもやさしい」よく耳にするフレーズですが、改めて省エネ行動で得られる節約額を見てみましょう。右の表に、まとまった節約効果が見込め、誰もが取り組める省エネ行動を取り上げました。節約額は、年間で約2万円。

Household budget 家計

主な省エネ行動と節約額(年額)の目安
 ※各シミュレーションには、諸条件があります。
 詳細、その他の省エネ行動が知りたい方は、右のQRコードからアクセス！
 出典：省エネポータルサイト「無理のない省エネ節約」(資源エネルギー庁)

主な省エネ行動	節約額(年額)	CO ₂ 削減量(kg-CO ₂)
白熱電球からLEDランプに交換。	約2,430円	43.9
エアコン暖房の室温目安を20℃にして必要時のみ稼働。フィルターを月1・2回清掃。	約3,390円	61.4
冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に。詰め込みすぎず、壁から適切な間隔で設置。	約4,070円	73.5
入浴の間隔をあけず追焚しない。シャワーは不必要に流さない。	約9,400円	114.4
合計	19,290円	293.2

Disaster prevention 防災

狛江市にも甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風を始めとして、近年は日本各地で台風・大雨による被害が相次いでいます。気象庁の研究では、自然災害につながる恐れのある大雨は増加傾向にあり、今後もその傾向は続くとの予測結果が出ています。さらに、国や東京都等からは首都直下型地震の被害想定も示されるなど、大地震への対応も現実的な問題として迫っています。

災害による大きな脅威の一つに「停電」があります。私たちの生活は電気に大きく依存しており、その供給が止まることで、生活に多大な支障が生じます。停電への備えとして大きな効果を発揮するのが、太陽光発電設備や蓄電池などによる、再生可能エネルギーを利用した電力の自給自足です。これにより災害で送配電の機能が停止した場合でも、その影響を大きく軽減することができ、再生可能エネルギーを利用した電力の自給自足です。これにより災害で送配電の機能が停止した場合でも、その影響を大きく軽減することができ、再生可能エネルギーを利用した電力の自給自足です。

再生可能エネルギーによる発電は、発電時のエネルギー消費や温室効果ガスの排出がなく、環境にやさしい電気をつくります。また、蓄電池を併用することで自家発電した電気を発電時以外にも使用することができ、クリーンな電気の使用を拡大できます。市では、太陽光発電設備、蓄電池などの導入費用を助成しています。地球温暖化を防止するため、ご家庭の防災力を強化するために、ぜひ導入をご検討ください。

その物音、糞はひょっとして アライグマ・ハクビシンかも？



アライグマ・ハクビシンによる被害でお困りの方に「箱わな」の貸出しを行っています。貸出期間は3週間程度で、設置場所は被害のあった場所の所有者又は管理者の敷地内に限ります。※捕獲された場合、市で回収いたします。※捕獲にかかるえさ代は実費となります。



箱わな

アライグマの特徴
成獣の大きさは約70~90cmで尾にしま模様があるよ！

ハクビシンの特徴
成獣の大きさは約1mで尾が長く顔に白い線があるよ！

特定外来生物・害獣の
パンフレット



問合せ・申込先 環境政策課水と緑の係 ☎03-3430-1111 (内線2562)

街なかの 下水道



絵手紙 マンホール



絵手紙を中心としたさまざまな美術品等を市内各所に飾る「狛江市まるごと美術館」の中で、狛江駅周辺に絵手紙デザインのマンホールを設置しました。ほっとする絵や心に染み込む言葉がきっと見つかると思います。足元にも注目してみてください！

問合せ先 下水道課 ☎03-3430-1111 (内線2523)

ツリーウォッチングを開催します！



緑道を散歩しながら、樹木札をつける樹木を選定する、ツリーウォッチングを開催いたします！講師の先生からそれぞれの樹木の特徴を解説いただきます。普段何気なく歩いている緑道で、新たな発見があるかもしれません。

開催日時 (1回目) 3月5日(金)、(2回目) 3月19日(金)
午前10時から2時間程度

会場 野川緑地公園

定員 各回15名

講師 スズキケンイチ 鈴木伸一教授 (東京農業大学)

申込み 環境政策課水と緑の係まで (2月16日(火)から受付中)



問合せ・申込先 環境政策課水と緑の係 ☎03-3430-1111 (内線2562)

狛江市の生物多様性に関する取組み

“生物多様性ワーキンググループ”の新設 **メンバー募集中**

昨年度策定した「狛江市生物多様性地域戦略」に定めた目標の達成に向け、市民協働により取組をさらに進めるために**生物多様性ワーキンググループ(WG)**を新設しました！！

《活動例》

- ◆ビオトープなどの生きものの生息空間づくり
- ◆生物多様性に関する施策の提案・実施や普及啓発

※そのほかグループのメンバーで、話し合い、生物多様性に係る取組を実行していきます。



生きものの住み家づくり大作戦 in 西河原公園

生きものを育む、生物生息空間づくりを行います。



ちょこっとビオトープカナヘビかくれんぼ

開催日時 3月13日(土)午後1時30分から2時間程度
※雨天時は、3月20日(土)に延期

申込み 3月2日(火)午前9時から環境政策課水と緑の係まで

問合せ・申込先 環境政策課水と緑の係 ☎03-3430-1111 (内線2562)

環境保全推進講演会 エネルギーの小屋から見える未来



「移動式えねこや」
もやってくる！

～省エネ、再エネ、地産地消、
そして人の繋がりが地球を救う～

太陽光など自然の力でつくったエネルギーだけで心地よく過ごせる小さな建築「えねこや」(=エネルギーの小屋)。この講演会では「えねこや」の取組を通して、地球温暖化による気候危機が迫る中での持続可能な暮らしや住まいについて、一人一人がどのように考え、実践していくべきか、えねこやの活動や実践例とともにお話いただきます。

開催日時 3月27日(土)午後2時30分から2時間程度

会場 狛江市防災センター3階会議室

定員 30名(申込先着順)

講師 (一社)えねこや代表理事、
(株)アトリエ六曜舎代表取締役 湯浅 剛さん 外2名

申込み 3月3日(水)午前9時から応募フォームまたは環境政策課環境係まで

応募
フォー
ム
は
こ
ち
ら



問合せ先 環境政策課環境係 ☎03-3430-1111 (内線2566)

小学生環境フォトコンテスト 受賞者が決定しました

「豊かな環境をみんなで未来につなぐまち～水と緑の狛江～」をめざし、小学4、5年生を対象に環境をテーマにした写真のコンテストを実施しました。



受賞者 緑野小学校4年
中村 文慈さん

写真の題名

雨水で庭や家の中を涼しくする方法

狛江市の環境へのメッセージ

僕は自然が失われていくのが嫌なので、このコンテストに出て自然をちょっとでも守れたらと思います。守りたい理由は、自然が僕の遊び場なのでそれを失うのが嫌だからです。

評価コメント

中村さんの作品の素晴らしいところは、狛江市環境基本計画をよく読んで、目標にある地球温暖化に関心を持ち、私たちが身近にできる行動を力強く表現してくれたことです。関心を持って、さらに行動を考えられる熱心さを、とても頼もしく嬉しく思います。これからも環境問題に目を向けながら、考え、行動できる人であってください。期待しています！

問合せ先 環境政策課環境係
☎03-3430-1111 (内線2566)

広告欄

狛江市緑化相談員

緑のことなら、何でもご相談ください！

- (株)小谷野造園 03-3480-8910
- (株)白井造園 03-3480-0737
- (有)植直鈴木造園 03-3489-8923
- (株)高木造園 03-3489-6451

広告募集中！

ここに広告を掲載しませんか？

こまeco通信は狛江市内全戸配布しています。

広告サイズ (縦)4.5cm×(横)7.9cm

広告掲載料 25,000円/1枠

募集枠 各回2枠

お申込み・ご相談は環境政策課環境係まで
☎03-3430-1111 (内2566)